



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 任期制隊員就職補導教育を実施



埼玉県警の講義には部隊長も聴講



石灰製品の製造過程説明に聞き入る隊員

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は、7月17日（木）～18日（金）、宇都宮駐屯地（宇都宮市）及び吉澤石灰工業株式会社（佐野市）において、任期満了退職予定隊員6名に対し、再就職に対する心構えと動機付けを確立させるため、「令和7年度任期制隊員就職補導教育」を実施した。

本教育では、援護課隊員による就職準備、援護情勢、予備自衛官等制度の説明、部外企業講師による「履歴書の書き方」、「スーツの着こなし」、埼玉県警による「警察官の募集・採用」についての各種講義を実施したほか、2日目の午後には吉澤石灰工業株式会社を訪れ県内企業の実態把握のための「企業見学」を行った。企業見学を受け入れていただいた吉澤石灰工業株式会社は、創業明治6年と150年以上の歴史を誇る県内有数の製造業者であり、石灰石とドロマイトを採掘し、それらから一般生石灰や炭酸カルシウム等の各種品目を製造・販売している。これらの商品は製鉄、建設、農業等幅広い業界で欠かせない物資となっており、私たちの生活を陰で大きく支えている企業である。

今回の見学では、広大な鉱山で採掘された大量の鉱石が轟音を立てて破碎、運搬される場面や、工場に運搬された石灰石等を超高熱で焼成し、農業用肥料等の各種商品に加工されるまでの工程を見学させていただいた。参拝は、県内企業の社会貢献状況について理解を深めたようであり、任期満了後に民間企業で活躍する自身の姿をイメージするには大変良い機会となった。

栃木地本では「今後も、隊員が退職後も充実した人生を送ることができるよう、再就職に対する動機付けを促すとともに、隊員の希望に即した就職の援助を行っていく」としている。



広大な鉱山の採掘現場を見渡す任期満了退職予定隊員

## 祇園祭・ふるさと茂木夏まつり ～広報展で自衛隊をPR！～



わなげの様子



制服試着の支援をする募集相談員

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 本郷3佐）は7月26日（土）に茂木町住民課職員と連携し「祇園祭・ふるさと茂木夏まつり」において広報活動を実施した。

このお祭りは、八雲神社・御獄神社の夏まつりで、疫病退散を願って始められた茂木町の伝統的な行事である。祭りが開催される2日間、色とりどりの山車や神輿が町内を練り歩き、訪れる人を楽しませる。山車には龍や鳳凰など透かして彫が施されていて町の文化財にも指定されている。茂木町の魅力を広く内外にPRする祭りでも、多くの来場者があり、自衛隊の活動や魅力を伝える絶好の機会となった。

自衛隊広報ブースでは、制服試着及びわなげコーナーを設け、制服を試着して写真撮影を楽しむ微笑ましい姿が見られた。また自衛官募集相談員による「わなげコーナー」は子ども達に大変人気があり、常に賑わいを見せる大盛況ぶりだった。自衛官募集相談員の積極的な広報活動の姿勢に、改めて感謝の気持ちを感じるとともに、所員一同募集目標達成への決意を新たにした。

真岡募集案内所は「人口が少ない地域での募集活動となるため、PRに際しては一層の工夫が必要となる。今後も、地域出身者の強みや自衛官募集相談員の協力を最大限に活かし、地域に根差した募集・広報活動を展開していきたい」としている。



自衛隊ブースを訪れる来場者



記念撮影の様子